

中学校社会科 教材研究のステップ

常に目の前の子どもの姿を思い浮かべながら教材研究をしよう！



資質・能力の
明確化

STEP 01

単元で育成を目指す資質・能力を明確にする。



- 中学校学習指導要領解説社会編(P182,183)や、各校の学校経営計画や年間指導計画などを基に、当該分野で育成する「資質・能力」を確認する。
- 中学校学習指導要領解説社会編の各分野の目標、各分野の「内容」から、本単元で何ができるようになればよいか、何が分かればよいかを明確にする。
- 中学校学習指導要領解説社会編P33,34,83,130を参考に、この単元で働かせたい社会的事象の見方・考え方（視点や方法（考え方））を明確にする。

ゴールの設定

STEP 02

育成を目指す資質・能力が身に付いた子どもの姿や、期待する子どもの振り返りの記述を設定する。

- 『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』を基に「内容のまとめりごとの評価規準」を作成する。
- 育成を目指す資質・能力が身に付いた子どもの具体的姿（「おおむね満足できる」状況と判断）を明確にする。



学習課題の設定

STEP 03

単元を貫く学習課題と、「めあて」となる各時間の問いを設定する。



- 子どもが見通しをもって学習を進められるように単元を貫く学習課題を設定し、課題解決の方法や調べる視点等を考えさせる場面を設定する。そのために、授業の柱として機能し、一貫性のある指導が可能となる学習課題にする。
- 単元を貫く学習課題と各時間の問いに整合性をもたせる。

活動の設定

STEP 04

資質・能力の育成に向けた1時間ごとの学習活動を設定する。



- 単元の終末やそれに向かう過程において引き出したい気づき、また、それを引き出すための発問や手立てを想定する。
- 子どもが見方・考え方を働かせることができる課題と学習活動を設定する。
- その時間につかませたいことや、活動の目的、評価方法を具体的に設定する。

分析・考察・改善

STEP 05

子どもの「振り返り」から、教材研究や教師の手立てを振り返る。



- 子どもの「振り返り」から教師が子どもの学びの状況を見取り、想定した姿と違っていただけの場合、どんな手立てが足りなかったのかを分析し、授業改善につなげる。
- 子どもが単元の終末に新たな問いを見出しているか、単元を貫く学習課題に対しての見通しがどのように変容しているのかを見取る。

〔実際の授業では〕

- 子どもたちの授業での学び方や発言などを掲示物やICT機器に残すなどして次の授業に生かすことが大切。
- 子どもたちの振り返りをもとに、個々への支援、授業改善を行う。

次の単元にフィードバックすることが大切！